ボーリング柱状図

調　査　名　H19鍋小路地区他2箇所地質調査業務

事業・工事名

ボーリングNo.

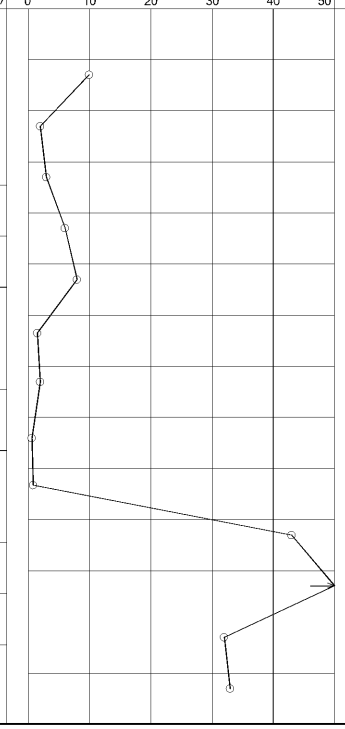
シートNo. 0281132-12

ボーリング名	No.12	調査位置	東京都江戸川区上篠崎地内			北緯	35° 42' 54"
発注機関	国土交通省 関東地方整備局 江戸川河川事務所			調査期間	平成20年2月21日 ～ 20年2月21日	東経	139° 54' 8"
調査業者名	大成基礎設計株式会社 東関東事務所 電話（043-272-5141）	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]	コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]
孔口標高	YP +3.84m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機	YBM-05	ハンマー落下用具	半自動落下装置
総掘進長	13.45m								エンジン	NFAD-10	ポンプ	KANO V-4

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1	1.94	1.90	1.90		盛土(細砂)	暗褐／暗灰			GL−0.3mまで、ロームによる表土 GL−1.2mまで、山砂による盛土（暗褐色） 少量の細礫を点在する 以深、粒径不均質な砂による盛土（暗灰色）	1/21 2.20 ▽
2	0.94	1.00	2.90		粘土質シルト	暗灰		非常に軟らかい	シルト優勢の粘性土であり、全体に均質な状態を呈する 少量の腐植物を混入する	
3	0.24	0.70	3.60		シルト質細砂	暗灰	非常に緩い		細砂を主体とし、全体に粘性土分（シルト主体）を混入する 全体に含水が多く、非常に緩い状態を呈する	
4					シルト混り細砂	暗灰	緩い		比較的に粒径が均一な細砂を主体とし、少量の粘性土分を不規則に混入する 全体に含水が多い 層上部で少量の腐植物を点在する	
5	-1.81	2.05	5.65							
6										
7					砂混りシルト	暗灰		非常に軟らかい	シルト優勢の粘性土であり、全体に少量の細砂を混入する 層上部で細砂を薄層状に挟む 部分的に腐植物を混入する 全体に含水が多めで、層下部に従い非常に軟らかくなる GL−8m付近、貝殻片を混入する	
8										
9										
10	-6.06	4.25	9.90							
11					細砂	暗灰／黄灰	密な／非常に密な		全体に粒径が均一な細砂を主体とする GL−12m付近まで、暗灰色を呈し密な状態を呈する 以深、黄褐色を呈し、少量の粘性土分（シルト主体）を混入する GL−13m以深、粒径が粗くなり細砂～中砂を主体とする	
12										
13	-9.61	3.55	13.45							

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)
1.15	3	4	3	10／30
1.45				
2.15	1／17	1／13		2／30
2.45				
3.15	1／15	1／6	1／9	3／30
3.45				
4.15	1	2	3	6／30
4.45				
5.15	3	3	2	8／30
5.45				
6.15	1／25	1／15		2／40
6.55				
7.15	1／15	1／15		2／30
7.45				
8.15	0／15	1／35		1／50
8.65				
9.15	0／5	1／30		1／35
9.50				
10.15	17	12	14	43／30
10.45				
11.15	14	18	18／9	50／29
11.44				
12.15	10	9	13	32／30
12.45				
13.15	10	11	12	33／30
13.45				



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（）	掘進月日
				2／21